

11月度 例会 山行報告書		報告者	竹内	参加 メンバー	CL:竹内 幹雄 塚本 英吾
個人		報告日	12/8		
山域	北アルプス	山行日	11年 11月 18日(金) ~		
山名	焼岳		**年 **月**日(*)		
山行目的	百名山を登る		コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局

ルート図(地図を見て正確に)	11/18 曇り
	7:05 登山口 8:00 1835m 9:20 2135m 10:45 焼岳頂上 11:00 下山開始 11:37 2170m 12:03 分岐 13:12 登山口 13:30 駐車場
1/2.5万地形図: 焼岳	

山行報告 前夜に刈谷を出発、中央自動車道、長野自動車道を走り松本I・Cを出てR158で新島々方面に向かう。そして、新島々の先にある道の駅で車を駐車、仮眠をする。翌朝、焼岳の麓にある中の湯に向かう。車は「中の湯温泉旅館」の近くに駐車して出発、登山ルートは新中の湯ルートに登る。登山口からしばらく歩くとうっすらと登山道に雪が現れた。2,3日前に降ったようである。樹林帯の登山道を進むと時々ブナ林が目に入る。2ピッチ歩いたところで上空が開けてきて広場に出た。この辺りが中の湯ルートと交わる「下堀沢出合」の分岐だが、交わるはずの登山道らしき道が見当たらない。後でわかったのだが、最近では道が荒れてしまって中の湯ルートは使われなくなったようだ。登山道入り口はロープが張って通れないようになっている。ここまで来ると視界も広がり焼岳が近くに見え始めてきた。辺り一面にはダケカンバが茂り、深まる秋の景色を彩っている。ここからは焼岳を見ながら進む。やがて噴煙を上げている溶岩ドームの目の前に近づく。ここからは岩場につけられたペンキの矢印に従い進んでいく。ドーム直前へ着いたところで、タオルを取り出し鼻と口を隠すように顔に巻き、用心しながら歩いていく。ここを通り過ぎて、すぐに左に折れて岩場を登ると焼岳頂上に到着である。頂上は所々雪が付いているが積ってはいない。ここから見える穂高も頂上付近に白く雪が付いている程度である。上空は雲が広がり、いつ雨が降り出すか判らないような状態なので少し休憩をした後、下

山を開始することにした。下山は登ってきた道をそのまま下って行く。登りと同じように溶岩ドームの所はタオルを口に当てて用心して進む。分岐を越えて樹林帯に入り、さらに下っていくと木を切る音が聞こえてきた。登山道の整備をしている音で工事屋さん挨拶をする。この時、中の湯ルートが使えない事を教えてもらいました。そして下山後、中の湯の温泉にどっぷりと浸かり、冷えた体を温め刈谷へと帰りました。

リーダー所見 焼岳は今まで見ることは何度かありましたが、なかなか登る機会がなくて、今回、登ることができて、とても良かったです。この時期だと上高地からのコースは冬季期間に入り、橋が撤去されているので登山道が封鎖されていて通れないと聞きました。今回、アイゼンは使わずに済みましたが、雪がうっすら残っていることから悪天に備えて装備は万全を期することが必要と感じました。

《フリースペース》



噴煙を上げる溶岩ドーム

確認
(リーダー)
竹
11/12/08
内

作成
(報告者)
竹
11/12/08
内